【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成28年10月6日(2016.10.6)

【公開番号】特開2016-1769(P2016-1769A)
【公開日】平成28年1月7日(2016.1.7)
【年通号数】公開・登録公報2016-001
【出願番号】特願2014-120180(P2014-120180)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｂ　5/02　(2006.01)
Ｈ０２Ｊ　50/00　(2016.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　5/02
Ｈ０２Ｊ　17/00　Ｂ
Ｈ０２Ｊ　17/00　Ｘ

【手続補正書】
【提出日】平成28年8月19日(2016.8.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
外部から送信される電力波によって電力を得て駆動する通信装置であって、
該通信装置内に、前記電力波から得られる電力または信号を前記通信装置内に供給する電力波系統を複数設け、
該複数の電力波系統のうち、第１の電力波系統は、前記通信装置から信号を送信するための送信用素子を駆動するための回路に電源を供給するように接続され、
他の電力波系統は、前記通信装置が送信する信号を生成するための信号生成部に接続されることを特徴とする通信装置。
【請求項２】
請求項１に記載の通信装置であって、
前記信号生成部のインピーダンスが、前記送信用素子を駆動するための回路のインピーダンスより高く設定されたことを特徴とする通信装置。
【請求項３】
請求項１または２に記載の通信装置であって、
前記送信用素子を駆動するための回路の動作可能な電圧の下限値が、前記信号生成部の動作可能な電圧下限値よりも低く設定されたことを特徴とする通信装置。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか一項に記載の通信装置であって、
前記複数の電力波系統は、電力波を受信する一つの電力波受信用素子に分配トランスを接続し、該分配トランスによって２つ以上に分配したものから、それぞれ接続されることを特徴とする通信装置。
【請求項５】
請求項１～３のいずれか一項に記載の通信装置であって、
前記複数の電力波系統は、前記電力波を受信する複数の電力波受信用素子から、それぞれ接続されることを特徴とする通信装置。
【請求項６】

請求項１～３のいずれか一項に記載の通信装置であって、
前記他の電力波系統の少なくとも一つは、前記信号生成部内のクロック生成部に接続され、クロック再生回路によって前記電力波のクロックを再生して得たクロックを、前記通信装置のクロックとして用いることを特徴とする通信装置。
【請求項７】
請求項１～３のいずれか一項に記載の通信装置であって、
前記他の電力波系統が複数設けられ、それぞれの前記他の電力波系統が個別の整流電圧を生成する個別の整流部に接続され、前記個別の整流部が前記信号生成部の各構成要素に接続されることにより、前記信号生成部の各構成要の起動順序を任意に設定できることを特徴とする通信装置。
【請求項８】
請求項４に記載の通信装置であって、
前記電力波受信用素子は電力波受信用アンテナであり、前記送信用素子は送信用アンテナであることを特徴とする通信装置。
【請求項９】
請求項４に記載の通信装置であって、
前記電力波受信用素子は電力波受信用コイルであり、前記送信用素子は送信用コイルあることを特徴とする通信装置。
【請求項１０】
請求項８に記載の通信装置であって、
前記他の電力波系統に接続される前記電力波受信用素子が電力波受信用アンテナであり、該電力波受信用アンテナが、第１の電力波系統に接続される電力波受信用素子を構成する電力波受信用アンテナの内部に設けられたことを特徴とする通信装置。
【請求項１１】
請求項８に記載の通信装置であって、
前記電力波受信用アンテナが、非共振アンテナであることを特徴とする通信装置。